

# 「データヘルス計画」に対する医療・介護・保健の連携データを活用した 地域医療課題解決型プラットフォームの構築とその活用

静岡理工科大学 情報学部

教授 水野信也

## 研究の概要と成果

### 【研究の概要】

経済産業省「ヘルスケア産業政策について」や厚生労働省「データヘルス」においても、自治体が所有する健康・医療データの活用が望まれている。KDB(国保データベース)が平成30年度から提供されているが、統計情報での活用は行われているものの、現場が抱える課題解決に活用するまで至っていない。本研究では、KDBを中心としたデータを活用し、自治体が共通に持つ課題に対しての分析手法を提案するとともに、自治体固有の課題についても、データ連携手法を示し、地域医療の課題解決を試みる。今年度については、御前崎市を対象としてデータ連携、データ分析を実施した。また静岡県内35自治体に対し、アンケートを実施して、データヘルスに関する課題を収集し、次年度への取り組みにつなげる。

### 【成果】

2ヶ月に1回のペースで御前崎市、浜松医科大学、静岡理工科大学を繋ぎ打ち合わせを実施した。主に内容としては、御前崎市提供のデータに関する連携状況やデータ分析結果に対するコメント、今後の分析方針に関するディスカッションである。

成果として、以下がある。

Haruka Ohba, Ymika Miura, Tomoya Higuchi and Shinya Mizuno, Utilization and application of medical, nursing, and healthcare data for Data Health Project, 第26回静岡健康・長寿学術フォーラム (2021).

また静岡県内35自治体に対しデータヘルスに対するアンケートを実施して、22自治体から回答を得た。静岡県内でのデータヘルス計画に対する課題をまとめ、令和3年度では御前崎市に加えて3自治体(富士市、長泉町、小山町)から直接インタビューを実施した。

これらの取り組みをまとめたものを静岡理工科大学令和3年度紀要に投稿した。



番号	人数	介護費用	初期介護度	介護度変化率	初期認定年齢	入院割合	平均コスト	高血圧	糖尿病	脂質異常	高尿酸	虚血性	脳血管
0	224	中	低	中	高	低	低	中	中	高	低	高	高
1	385	大	高	低	高	低	低	中	低	低	低	低	中
2	427	小	低	中	低	低	低	高	高	高	低	低	高
3	187	中	中	低	低	高	高	低	中	低	低	低	高
4	199	小	低	中	中	低	低	高	高	中	高	中	中
5	839	小	低	高	中	低	低	低	低	低	低	低	低

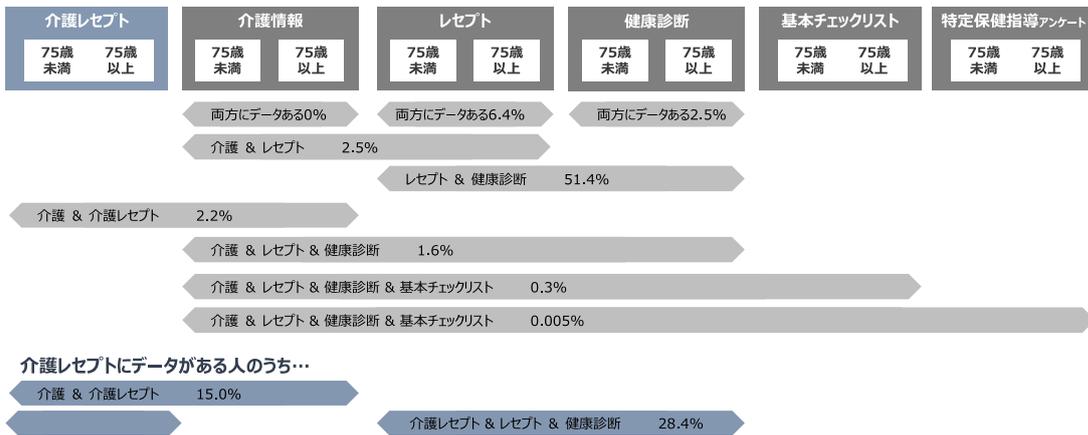


図 3 御前崎市におけるKDBデータ突合率

表 1 御前崎市における医療・介護データ連携におけるクラスタ分類

番号	特徴	内容
0	(軽度) 生活習慣病→介護	生活習慣病を持ちながら、中程度の介護を受けている
1	健康→高齢介護	医療レセプトでは大きな病気は見られないが、高齢で高介護度での介護となり、介護費用がかかる
2	(軽中度) 生活習慣病→介護	生活習慣病と付き合い、介護に入っている。介護費は低く変化率も中程度
3	入退院→若年介護	入院が多く医療費はかかっており、中程度の介護度、介護費となっている
4	(中度)	生活習慣病で他の病気も関係してリスクが高いが介護では費用が低く、変化率も中程度

	生活習慣病→介護	
5	健康→中齢介護	健康で過ごしていたが、介護に入り、高齢化とともに介護度の変化率も大きい

- 課題を感じており、取り組みもしている 4
- 課題を感じているが、取り組んではない 12
- 課題を感じていない 3
- Other 3

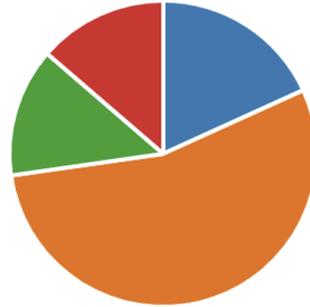


図 4 自治体として、KDBデータ利活用に関する課題を感じていますか（質問6）